

令和 7 年度学校評価報告書

令和 8 年 3 月

富山大学教育学部附属中学校

令和7年度学校評価報告書

富山大学教育学部附属中学校

I はじめに

1 教育目標（校訓）・教育方針

【校訓】 自分で考え、自分で計画し 勇気をもって実践しよう。

己にうちかち他を愛し 真善美を求めよう。

【教育方針】

- ◇ 高い知性と豊かな情操を備え、強い意志をもって真・善・美を追求する人間を育成する。
- ◇ 思慮に富み、善悪の判断を誤らず、誠実・勤勉で、自主性をしっかり身に付けた人間を育成する。
- ◇ 教師や友人との親和を重んじ、共同生活における自らの立場と使命を自覚し、社会の有能にして望ましい形成者となる人間を育成する。
- ◇ 明朗活発な気性と堅忍持久の精神をもって、志すところを貫徹してゆく実行力を備え、強健な身体をもつ人間を育成する。

2 学校評価委員会

校長・副校長・教頭・教務部（3名）で組織する。

II 学校評価実施計画

1 目的

- (1) 本校における教育活動等の成果を検証し、必要な改善・支援を行うことにより生徒がよりよい教育活動等を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指す。
- (2) 学校運営に関する保護者等の関心に対し適切に説明責任を果たすとともに、学校の状況に関して共通理解することにより、相互の連携協力の促進を図る。
- (3) よりよい学校づくりやよりよい生徒づくりに向けて、アカウンタビリティ（説明責任）や行為責任、結果責任を含めて、教員の意識改革の機会とするとともに、教員の質の向上と関係者との継続的・発展的な協働のための情報の共有・コミュニケーションのツールとして生かす。

2 実施方法

- (1) 自己評価
 - ・全教員（アンケート、職員会議）
- (2) 評価アンケート（生徒、保護者対象）
 - ・全生徒
 - ・全保護者
- (3) 自己評価、評価アンケートの結果について評価する学校関係者評価
 - ・学校評議員会
 - ・PTA役員会

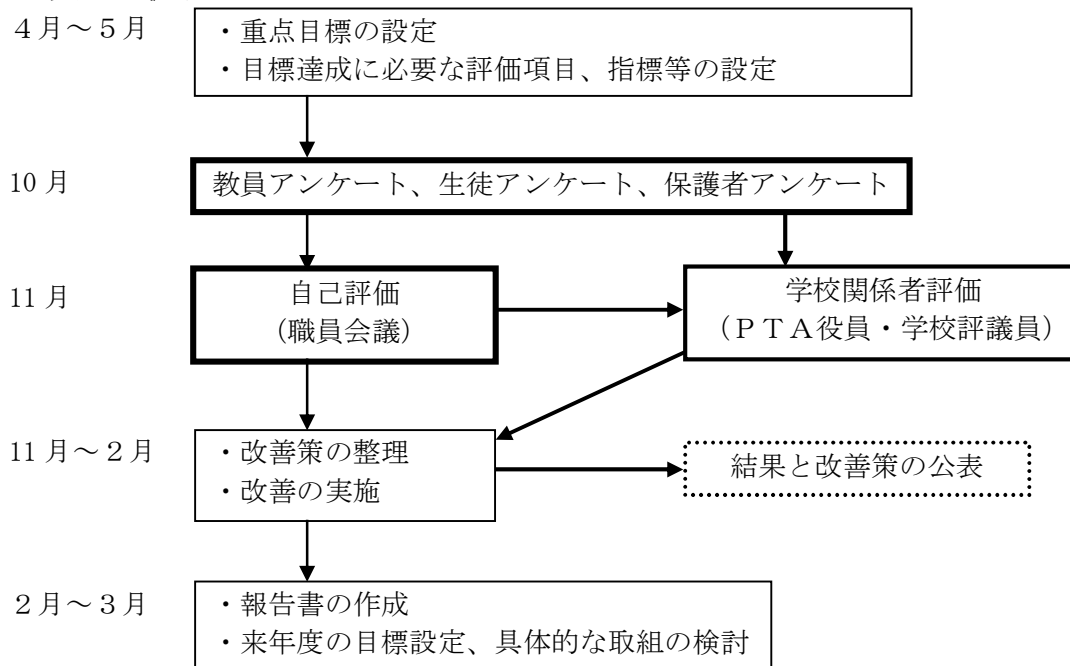
3 評価方法

- (1) 教員、生徒、保護者への評価アンケート ※無記名で実施。
- ・質問紙法による4段階評価（「あてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」とし、記述を求める質問は作らなかった。（保護者には「わからない」の回答選択あり）
 - ・回答はオンライン（グーグルクラスルーム・Forms）により行った。
- (2) 学校評議員会での評価
- ・年2回の学校評議員会で、学校の概況報告を行うとともに、生徒や保護者による評価アンケートの結果と教員の自己評価の結果、並びに、全国学力・学習状況調査等の諸調査の結果を提供し、各評議員から意見を伺った。
- (3) PTA役員会での評価
- ・年8回の役員会で、学校運営全般及び重点目標について、適宜、意見を伺った。

4 学校評価結果の公開等について

- (1) 公開
- ・教員（職員会議）
 - ・学校評議員会
 - ・PTA役員会
 - ・保護者（保護者向けのたより）
- (2) 結果の報告・活用等
- ・文部科学省等の公的機関の調査

5 実施の流れ



6 重点目標

本校の教育目標の根幹は「校訓」にあり、本校の目指す生徒像はここに表れていると捉え、今年度も、次の2点を本校が目指す生徒像とした。

- ・自分で考え、自分で計画し、勇気をもって実践する生徒
- ・己にうちかち他を愛し、真善美を求める生徒

このような生徒を育成することを学校の教育目標として、この具現化を目指して指導に当たっている。

本校にとっての課題を改善するため、昨年度の学校評価の結果も踏まえて、重点目標を設定した。

＜重点目標 1＞ 「授業や諸活動への主体的な取組」

＜重点目標 2＞ 「インターネットの適切な活用」

＜重点目標 3＞ 「生活面に関する意識向上」

学校全般を見渡し、「校訓」および研究主題「主体性の高まりをめざす課題学習」を意識して、「目標をもって学校生活を送っている」かの評価を行う。

7 評価項目

評価項目は、重点目標に合わせることはもとより、質問を具体的な表現にすること、質問の対象者が誰なのかが分かるように質問の仕方を工夫すること等に留意して決定した。

また、教員、生徒、保護者で共通する評価項目は、三者の結果を比較し、それぞれの意識の違いに注目して課題を見付け出せるようにした。

【資料 A】

Ⅲ 評価結果の活用について

1 結果の分析と実践

今年度も、設定した重点目標の内容に合わせて評価項目を設定し、評価を行った。

【資料 B】 【資料 C】

(1) 重点目標 1 「授業や諸活動への主体的な取組」について

授業で生徒が自分の考えを述べたり、クラスで討議したりするなどして、自分の考えを深めていると回答した生徒は 8 割を超え、昨年度から 7 % 上昇した。また、学習課題を理解し、授業に意欲的に取り組むことができている生徒は 9 割を超えている。授業に主体的・協働的に取り組んでいることが分かる。一方で、定期考査前に計画表を活用して見通しをもった学習を行っている生徒・保護者はどちらも 8 割に満たなかった。計画表の作成指導に加えて、進捗状況や振り返りの確認を通して、それぞれの生徒に必要なサポートを行っていく必要がある。

(2) 重点目標 2 「インターネットの適切な活用」について

【資料 D】 【資料 E】

クロムブック（一人一台端末）を家庭学習に役立てていると回答した生徒は 9 割近くになり、昨年度より約 10 % 上昇した。保護者も 8 割に近付いた。クロムブックを活用した家庭学習が家庭内にも定着していることが分かる。一方、教員は役立てるように指導できている回答が 7 割程度で、生徒・保護者の実態より低い。この原因に、より質の高い指導方法を求めているたり効果的な活用で課題を感じていたりすることが考えられるため、効果的な活用指導法に関する研修や情報交換等を継続的に実施していく必要がある。

PTA、生徒会と共同で「ネットの約束 17 条」を制定して、毎月、各家庭でのネットの使用状況について振り返る機会をもてるようにした。「ネットの約束 17 条」を守っていると回答した生徒は約 9 割だったのに比べ、教員、保護者ともに約 7 割で、認識に差が見られた。6 月に制定したネットの「ネットの約束 17 条」であるが、これまでの実態を基に生徒会を中心に必要な取組を考えたり、内容の見直しを図ったりしながら、生徒に定着するように取り組んでいきたい。

「ホームページやお知らせメール等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている」、「クラスルームで案内された情報は確実に確認している」と回答する保護者がどちらも 9 割前後で、グーグルクラスルームによる周知が定着していると考えられる。また、「困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある」と回答する保護者は、昨年度から約 6 % 増加した。学校が保護者にとって、困りごとを気軽に相談できる場所として認知されてきていることが分かる。今後も、三者懇談会だけでなく、家庭での生徒の変化等を早い段階で共通理解できるような関係を教員と保護者の間で築いていけるよう努めていきたい。

(3) 重点目標3「生活面に関する意識向上」について

交通ルールやマナーの遵守については教員と生徒・保護者の間に大きな捉えの違いがある。生徒自身が場面に合わせて適切な判断ができるような指導を継続的に行う必要がある。また、持ち物の管理については、否定的な回答をする教員・生徒・保護者が約2～3割であった。学年懇談会等を通して学校での実態を伝え、家庭とも連携しながら、指導方法を検討していきたい。

保護者には、評価の結果と考察及び課題解決のための今後の取組について、文書で知らせた。

【資料F】

2 実践状況の振り返りと次年度への提案

評価結果の分析を受けて、学年や分掌等で実践してきたことを年度末に振り返った。昨年度まで、そして今年度と、継続して取り組んできたことに成果は出てきている。しかし、改善の余地はあり、来年度も継続して取り組んでいく必要がある。

令和8、9年度、文科省の「教育課程柔軟化サキドリ研究校事業」の指定を受けた。教科の年間時数を10%を上限に減らすことができ、新設の教科に使ったり、教育活動や教員の研究などの裁量的な時間に使ったりできる。本校は、情報活用能力、コミュニケーション能力の育成、学習の振り返りを重点的に取り組んでいく予定である。

(1) 重点目標1「授業や諸活動への主体的な取組」について

- ・来年度も授業や諸活動において、より生徒を前面に押し出した取組を進めていくこと。
- ・学習や生徒会活動、部活動等に計画的に取り組めるよう、現在の紙媒体の生活ノートを廃止し、クロムブックや家庭の端末からアクセスできるアプリを導入する。生徒が自らの計画と現在の状況を適宜振り返り、担任とも共有できるようにすることで、生徒の自主的な取組を支援すること。

(2) 重点目標2「インターネットの適切な活用」について

- ・「ネットの約束17条」を生徒会が中心になって見直すことで、より実態に合った取組にしていくこと。
- ・「サキドリ研究校事業」を活用し、情報活用能力の育成やデジタルシチズンシップ教育を全校で実施し、これからの社会で生きていくために必要な知識、技能、思考・判断力を養うこと。

(3) 重点目標3「生活面に関する意識向上」について

- ・これらの場面において本校の目指す生徒像を生徒と改めて共有し、粘り強い指導を行うこと。
- ・生徒会活動を中心に、生徒発信型の意識向上の取組を引き続き図っていくこと。

◇添付資料

- 【資料A】 学校評価アンケート質問項目
- 【資料B】 学校評価アンケート結果 全体集計
- 【資料C】 学校評価アンケートについての考察
- 【資料D】 附中ネットの約束17条
- 【資料E】 附中ネット 11月アンケート結果
- 【資料F】 令和7年度学校評価の結果について（保護者配付）

【資料A】令和7年度学校評価アンケート項目

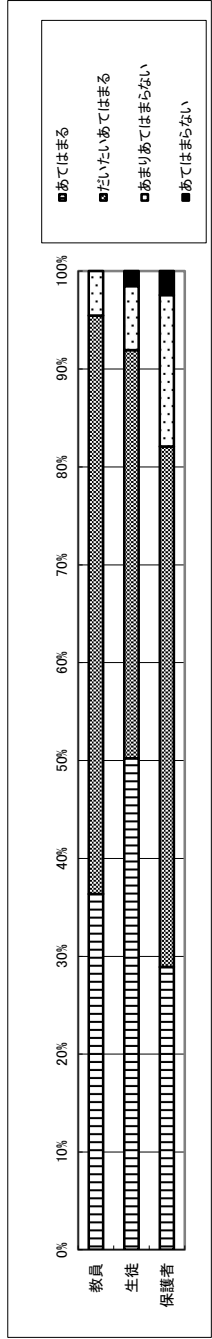
	生徒用アンケート	保護者用アンケート	教員用アンケート
1-1	・家庭学習の進め方(時間・方法など)について、教科担当の先生からの説明は十分である。	・家庭学習の進め方(時間・方法など)について、教科担当教師からの説明は十分である。	・あなたは、教科の家庭学習の進め方(時間・方法など)について、生徒に十分に説明している。
1-2	・定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。	・お子さんは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。	・あなたは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行うよう説明している。
1-3	・あなたは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。	・お子さんは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。	・生徒は、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。
1-4	・学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ないは①、適切であるは②、多いは③をマークしてください。)	・学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ないは①、やや少ないは②、適切であるは③、やや多いは④、多いは⑤)	・適切であるは③、やや多い④、多い⑤
1-5	・あなたはインターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。	・あなたは、インターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。	・生徒は、インターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。
1-6	・あなたはクロームブックを家庭学習に役立てている	・お子さんは、クロームブックを家庭学習に役立てている。	・あなたは、クロームブックを家庭学習に役立てることができるように指導している。
2-1	・あなたは、清掃担当場所の望ましい清掃の仕方を理解し、実践している。		・あなたは、清掃担当場所の生徒に望ましい清掃の仕方を理解させ、実践させている。
2-2	・あなたは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。		・生徒は清掃活動に積極的に取り組んでいる。
3-1		・保護者から学校へ、困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある。	・あなたは、保護者から気軽に相談できる雰囲気づくりに積極的に行っている。
3-2		・学校から配布または保護者クラスルームで案内された情報は確実に確認している。	
3-3		・ホームページや保護者クラスルーム等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている。	
4-1			・あなたは、後任の分掌担当者への引き継ぎを十分に行っている。(確実な伝達や資料のファイリングなど)
4-2			・前任者から引き継いだファイルは、スムーズに仕事をするのに十分である。
4-3			・あなたは、企画立案の際、前年度までの取り組みのよさを生かしながら、自分なりの工夫・改善をはかっている。
5-1	・学校の授業では、学習規律(私語をしない、授業開始時間を守るなど)が守られている。		・あなたの授業では、学習規律(私語をしない、授業開始時間を守るなど)が守られている。
5-2	・あなたは、授業内容を理解できている。	・お子さんは、授業内容を理解できている。	・あなたの授業では、生徒が授業内容を理解する工夫をしている。
5-3	・あなたは、授業において自分の考えを述べたり、クラスで議論したりして、自分の考えを深めている。		・あなたの授業では、生徒が自分の考えを述べたり、クラスで議論したりするなどして、自分の考えを深められる工夫をしている。
5-4	・学校の授業では、学習課題を理解し、意欲的に取り組むことができている。	・学校は、授業に意欲的に取り組めるような努力をしている。	・あなたは、生徒が意欲的に授業に取り組めるような工夫をしている。
5-5	・あなたは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。	・お子さんは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。	・あなたは、テストの結果などを、生徒がその後の学習に生かすための具体的な指導をしている。
5-6	・あなたは、目標をもって学校生活を送っている。	・お子さんは、目標をもって学校生活を送っている。	・あなたは、目標をもって学校生活を送っている。
5-7	・あなたは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。	・お子さんは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。	・生徒は、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。
5-8	・あなたは、交通ルールやマナー(公共交通機関の利用の仕方、自転車の乗り方、歩道の歩き方)を守っている。	・お子さんは、交通ルールや公共の場でのマナーを守っている。	・生徒は交通ルールやマナーを守っている。
5-9	・あなたは、時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。	・お子さんは、時と場合に応じた言葉遣いや行動ができている。	・生徒は時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。
5-10	・あなたは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。	・お子さんは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。	・生徒は、ほかの人に思いやりの心をもって接している。
5-11	・あなたには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。	・お子さんには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。	・生徒にとって、あなたは、悩み事や困ったことがあったときに相談できる相手である。
5-12			・あなたは、育てたい生徒像をしっかりと意識して指導(学習指導・生徒指導)している。
5-14	・あなたは、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつができている。	・お子さんは、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつをしている。	・生徒は、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつができている。
6	・あなたは学校生活に満足している。		

単位：％

く項目1＞家庭学習の充実に関する指導の工夫

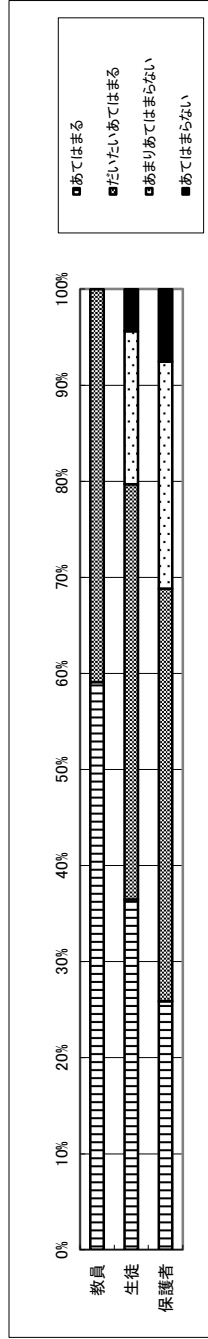
教1－1 あなたは、教科の家庭学習の進め方(時間方法など)について、生徒に十分に説明している。
生1－1 家庭学習の進め方(時間方法など)について、教科担当の先生からの説明は十分である。
保1－1 家庭学習の進め方(時間方法など)について、教科担当教師からの説明は十分である。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	36.4	50.3	28.9
だいたいあてはまる	59.1	41.8	53.2
あまりあてはまらない	4.5	6.6	15.5
あてはまらない	0.0	1.5	2.4



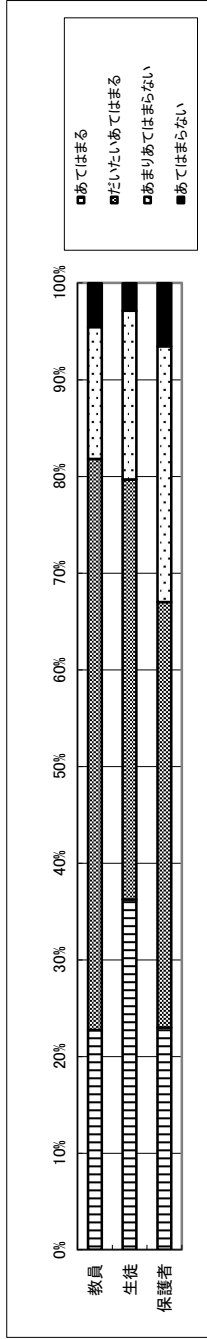
教1－2 あなたは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行うよう説明している。
生1－2 定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。
保1－2 お子さんは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	59.1	36.5	25.9
だいたいあてはまる	40.9	43.3	43.0
あまりあてはまらない	0.0	16.0	23.6
あてはまらない	0.0	4.4	7.5



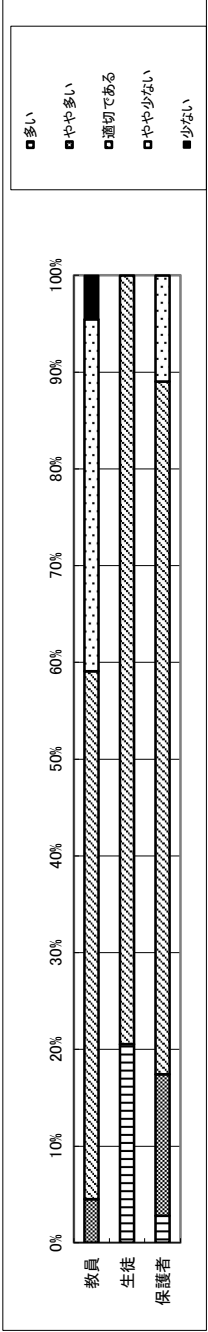
教1－3 生徒は、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。
生1－3 あなたは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。
保1－3 お子さんは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	22.7	36.3	23.0
だいたいあてはまる	59.1	43.5	44.0
あまりあてはまらない	13.6	17.5	26.5
あてはまらない	4.5	2.8	6.5



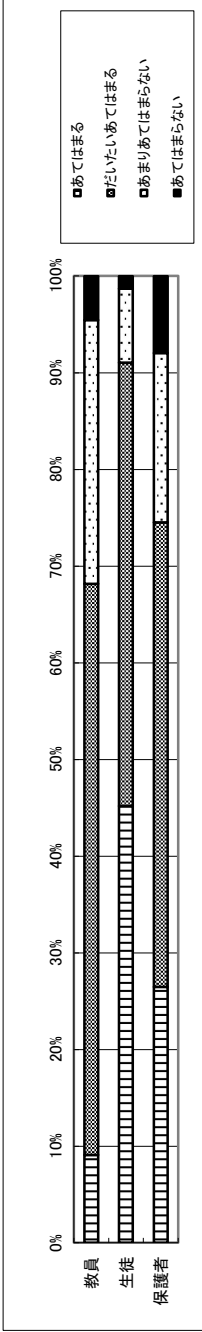
教1ー4 あなたが出している家庭学習の量は適切である。(少ない①、やや少ない②、適切である③、やや多い④、多い⑤)
 生1ー4 学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ない①、適切である②、多い③をマークしてください。)
 保1ー4 学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ない①、やや少ない②、適切である③、やや多い④、多い⑤)

	教員	生徒	保護者
多い	0.0	19.3	2.6
やや多い	4.5		13.8
適切である	54.5	74.4	67.8
やや少ない	36.4		10.4
少ない	4.5	0.0	0.0



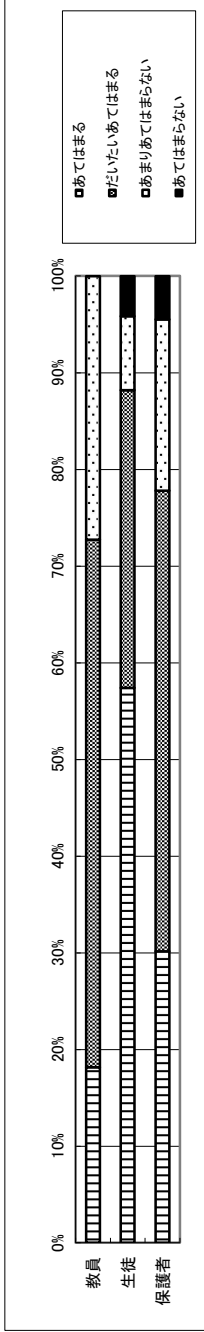
教1ー5 生徒は、インターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。
 生1ー5 あなたはインターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。
 保1ー5 お子さんは、インターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	9.1	45.3	26.5
だいたいあてはまる	59.1	46.0	48.1
あまりあてはまらない	27.3	7.7	17.5
あてはまらない	4.5	1.3	7.9



教1ー6 あなたは、クロームブックを家庭学習に役立てることができるように指導している。
 生1ー6 あなたはクロームブックを家庭学習に役立てている
 保1ー6 お子さんは、クロームブックを家庭学習に役立てている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	18.2	57.5	30.1
だいたいあてはまる	54.5	30.9	47.7
あまりあてはまらない	27.3	7.7	17.7
あてはまらない	0.0	4.2	4.5

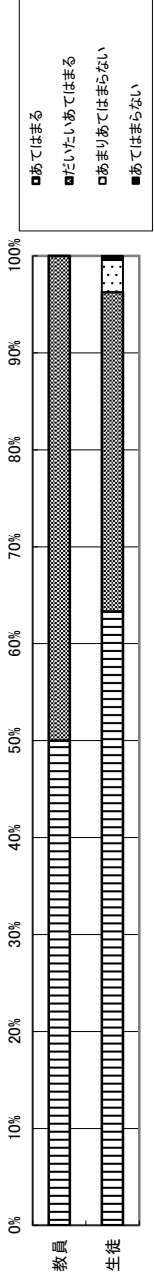


＜項目2＞清掃に積極的に取り組もうとする態度の育成

教2－1 あなたは、清掃担当場所の生徒に望ましい清掃の仕方を理解させ、実践させている。

生2－1 あなたは、清掃担当場所の望ましい清掃の仕方を理解し、実践している。

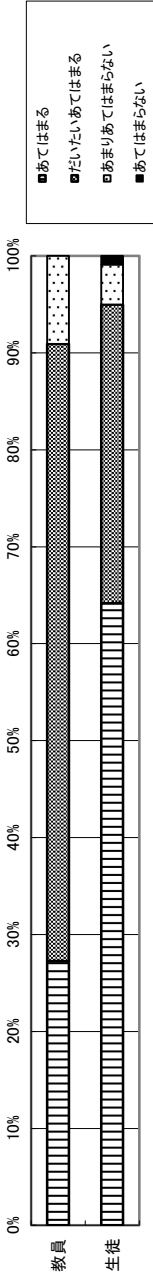
	教員	生徒	保護者
あてはまる	50.0	63.5	／
だいたいあてはまる	50.0	33.0	／
あまりあてはまらない	0.0	3.3	／
あてはまらない	0.0	0.4	／



教2－2 生徒は清掃活動に積極的に取り組んでいる。

生2－2 あなたは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	27.3	64.3	／
だいたいあてはまる	63.6	30.9	／
あまりあてはまらない	9.1	4.2	／
あてはまらない	0.0	0.9	／

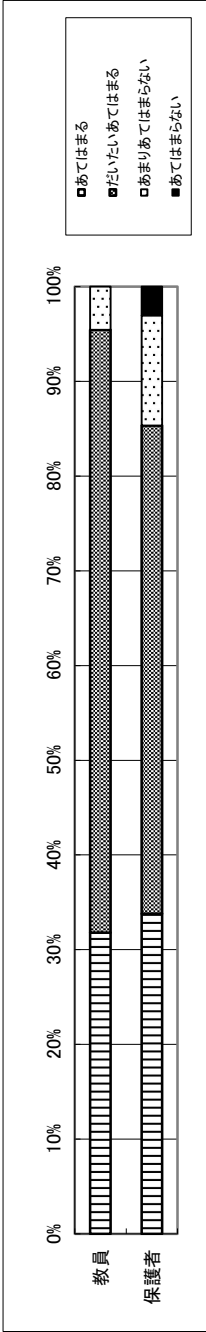


＜項目3＞ 家庭への情報発信の充実

教3－1 あなたは、保護者から気軽に相談できる雰囲気づくりを積極的に行っている。

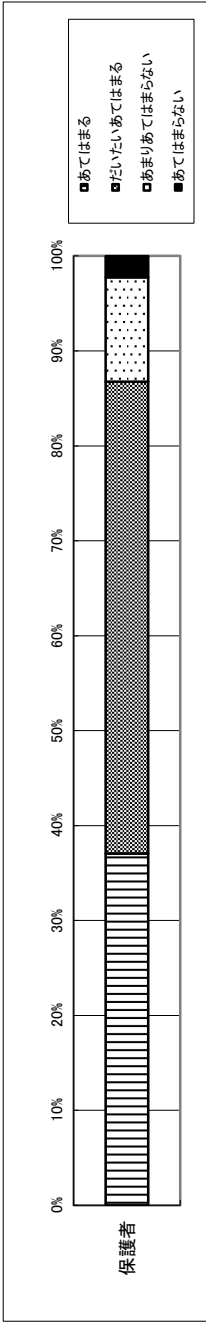
保3－1 保護者から学校へ、困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	31.8	/	33.8
だいたいあてはまる	63.6	/	51.5
あまりあてはまらない	4.5	/	11.6
あてはまらない	0.0	/	3.1



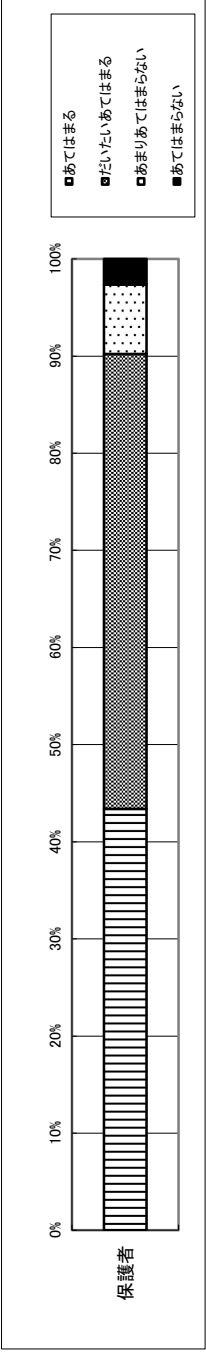
保3－2 学校から配布または保護者クラスルームで案内された情報は確実に確認している。

	教員	学 校	保護者
あてはまる	/	/	37.1
だいたいあてはまる	/	/	49.7
あまりあてはまらない	/	/	11.0
あてはまらない	/	/	2.2



保3－3 ホームページや保護者クラスルーム等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている。

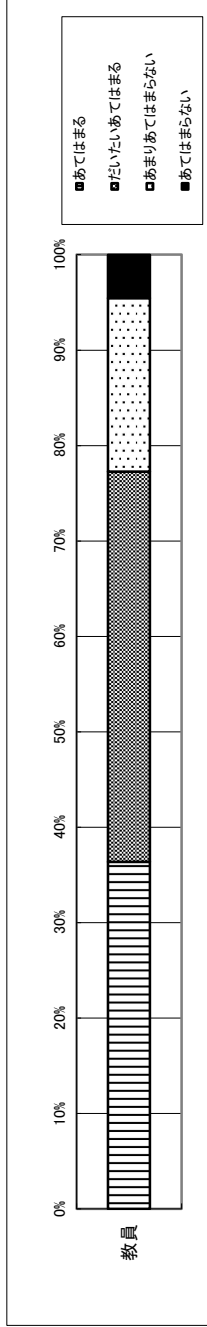
	教員	生徒	保護者
あてはまる	/	/	43.4
だいたいあてはまる	/	/	46.8
あまりあてはまらない	/	/	7.1
あてはまらない	/	/	2.6



＜項目4＞見通しをもった仕事と引継ぎの充実

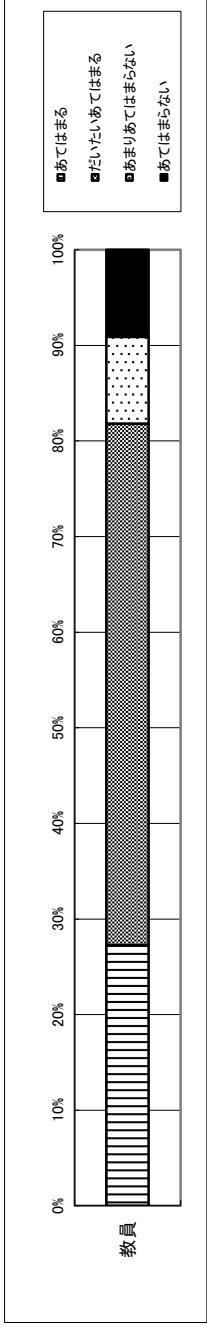
教4－1 あなたは、後任の分掌担当者への引継ぎを十分に行っている。(確実な伝達や資料のファイリングなど)

	教員	生徒	保護者
あてはまる	36.4		
だいたいあてはまる	40.9		
あまりあてはまらない	18.2		
あてはまらない	4.5		



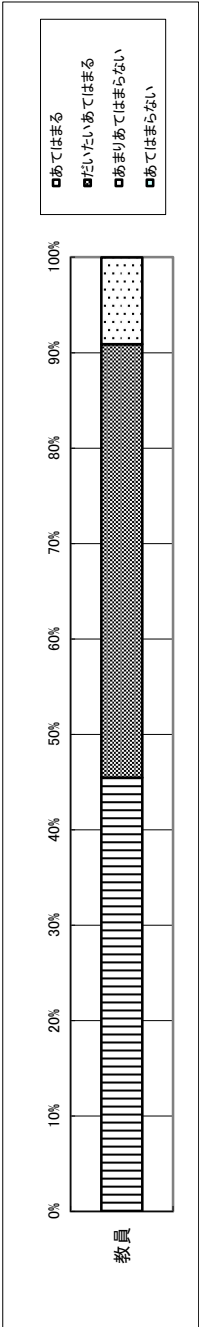
教4－2 前任者から引き継いだファイルは、スムーズに仕事するのに十分である。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	27.3		
だいたいあてはまる	54.5		
あまりあてはまらない	9.1		
あてはまらない	9.1		



教4－3 あなたは、企画立案の際、前年度までの取り組みのよさを生かしながら、自分なりの工夫改善をはかっている。

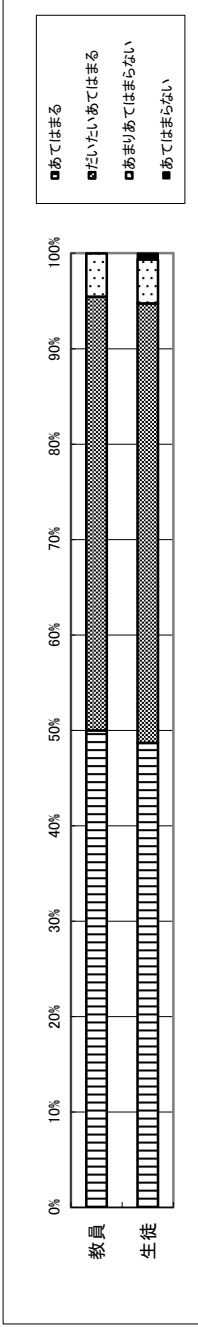
	教員	生徒	保護者
あてはまる	45.5		
だいたいあてはまる	45.5		
あまりあてはまらない	9.1		
あてはまらない	0.0		



＜項目5＞学校全般に関すること

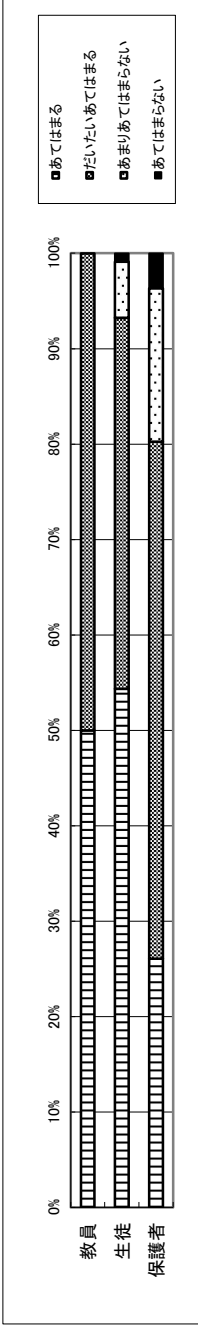
教5－1 あなたの授業では、学習規律（私語をしない、授業開始時間を守るなど）が守られている。
生5－1 学校の授業では、学習規律（私語をしない、授業開始時間を守るなど）が守られている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	50.0	48.8	☒
だいたいあてはまる	45.5	46.2	☒
あまりあてはまらない	4.5	4.6	☒
あてはまらない	0.0	0.7	☒



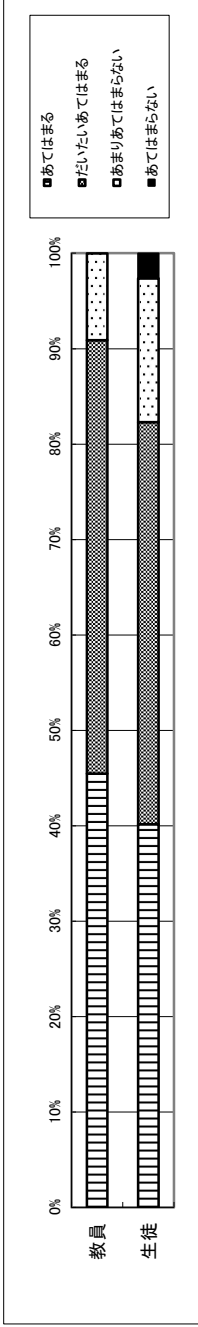
教5－2 あなたの授業では、生徒が授業内容を理解する工夫をしている。
生5－2 あなたは、授業内容を理解できている。
保5－2 お子さんは、授業内容を理解できている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	50.0	54.5	26.1
だいたいあてはまる	50.0	38.9	54.2
あまりあてはまらない	0.0	5.9	16.1
あてはまらない	0.0	0.9	3.7



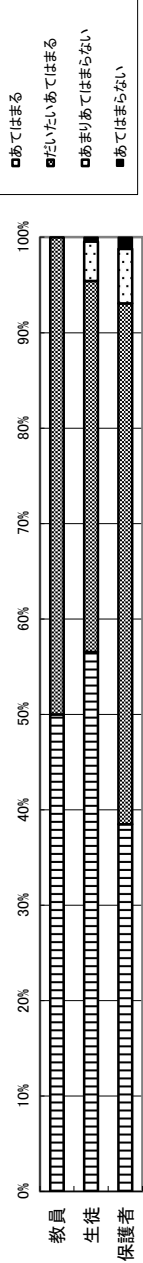
教5－3 あなたの授業では、生徒が自分の考えを述べたり、クラスで議論したりするなどして、自分の考えを深められる工夫をしている。
生5－3 あなたは、授業において自分の考えを述べたり、クラスで議論したりして、自分の考えを深めている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	45.5	40.3	☒
だいたいあてはまる	45.5	42.2	☒
あまりあてはまらない	9.1	15.1	☒
あてはまらない	0.0	2.6	☒



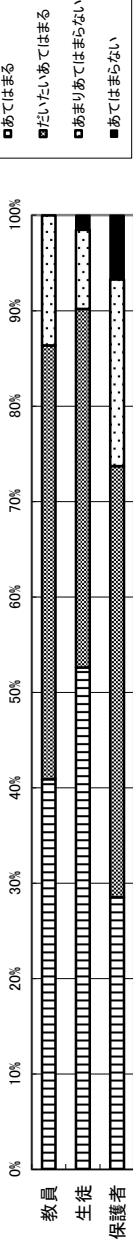
教5-4 あなたは、生徒が意欲的に授業に取り組めるような工夫をしている。
 生5-4 学校の授業では、学習課題を理解し、意欲的に取り組むことができる。
 保5-4 学校は、授業に意欲的に取り組めるような努力をしている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	50.0	56.7	38.5
だいたいあてはまる	50.0	38.9	54.6
あまりあてはまらない	0.0	4.2	5.7
あてはまらない	0.0	0.4	1.2



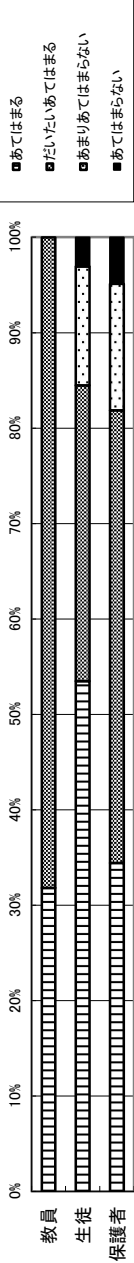
教5-5 あなたは、テストの結果などを、生徒がその後の学習に生かすための具体的な指導をしている。
 生5-5 あなたは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。
 保5-5 お子さんは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	40.9	52.7	28.5
だいたいあてはまる	45.5	37.6	45.2
あまりあてはまらない	13.6	8.3	19.6
あてはまらない	0.0	1.5	6.7



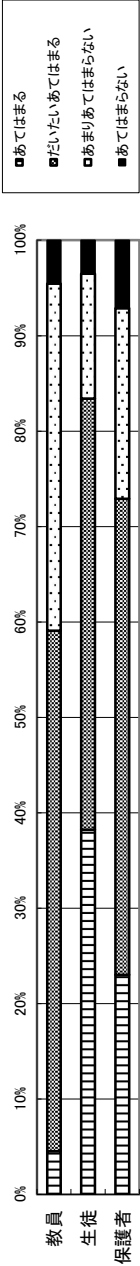
教5-6 生徒は、目標をもって学校生活を送っている。
 生5-6 あなたは、目標をもって学校生活を送っている。
 保5-6 お子さんは、目標をもって学校生活を送っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	31.8	53.6	34.4
だいたいあてはまる	68.2	31.1	47.5
あまりあてはまらない	0.0	12.5	13.2
あてはまらない	0.0	3.1	4.9



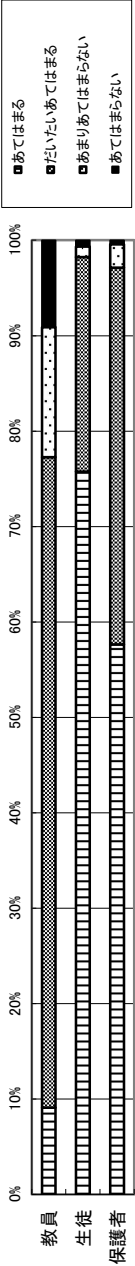
教5－7 生徒は、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。
生5－7 あなたは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。
保5－7 お子さんは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	4.5	38.3	23.0
だいたいあてはまる	54.5	45.3	49.9
あまりあてはまらない	36.4	13.1	20.0
あてはまらない	4.5	3.5	7.1



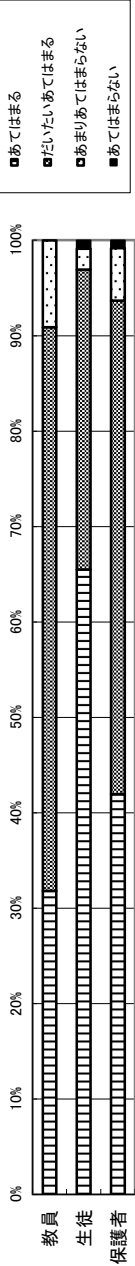
教5－8 生徒は交通ルールやマナーを守っている。
生5－8 あなたは、交通ルールやマナー(公共交通機関の利用の仕方、自転車の乗り方、歩道の歩き方)を守っている。
保5－8 お子さんは、交通ルールや公共の場でのマナーを守っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	9.1	75.9	57.6
だいたいあてはまる	68.2	22.5	39.5
あまりあてはまらない	13.6	1.1	2.4
あてはまらない	9.1	0.7	0.4



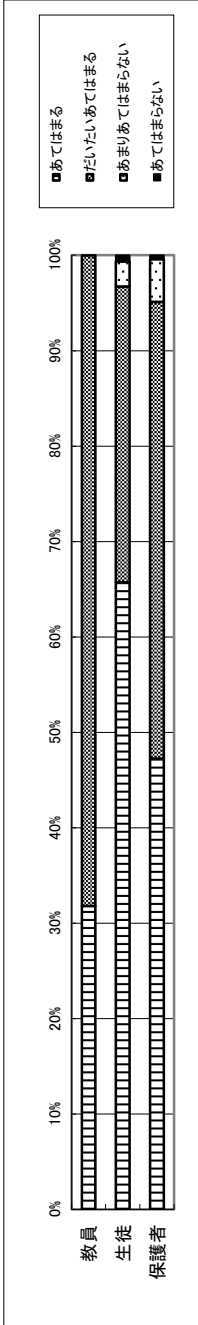
教5－9 生徒は時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。
生5－9 あなたは、時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。
保5－9 お子さんは、時と場合に応じた言葉遣いや行動ができている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	31.8	65.6	42.0
だいたいあてはまる	59.1	31.5	51.7
あまりあてはまらない	9.1	2.2	5.5
あてはまらない	0.0	0.9	0.8



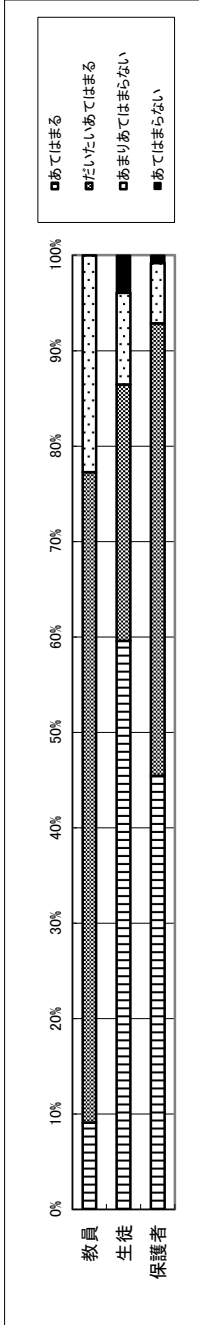
教5－10 生徒は、ほかの人に思いやりの心をもって接している。
生5－10 あなたは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。
保5－10 お子さんは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	31.8	65.9	47.3
だいたいあてはまる	68.2	31.1	47.9
あまりあてはまらない	0.0	2.6	4.5
あてはまらない	0.0	0.7	0.4



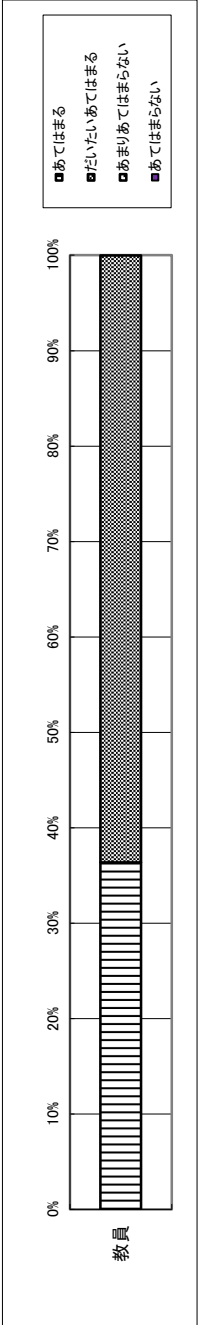
教5－11 生徒にとって、あなたは、悩み事や困ったことがあったときに相談できる相手である。
生5－11 あなたには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。
保5－11 お子さんには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	9.1	59.7	45.4
だいたいあてはまる	68.2	26.9	47.5
あまりあてはまらない	22.7	9.6	6.3
あてはまらない	0.0	3.9	0.8



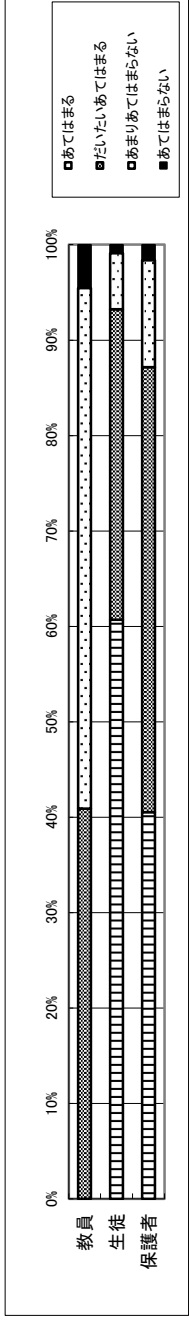
教5－12 あなたは、育てたい生徒像をしっかりと意識して指導(学習指導生徒指導)している。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	36.4		
だいたいあてはまる	63.6		
あまりあてはまらない	0.0		
あてはまらない	0.0		



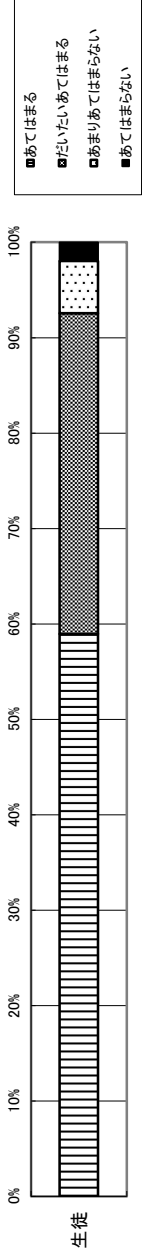
教5－14 生徒は、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつができている。
生5－14 あなたは、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつができている。
保5－14 お子さんは、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつをしている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	0.0	60.8	40.5
だいたいあてはまる	40.9	32.6	46.6
あまりあてはまらない	54.5	5.9	11.2
あてはまらない	4.5	0.9	1.6



生6 あなたは学校生活に満足している。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	/	59.1	/
だいたいあてはまる	/	33.7	/
あまりあてはまらない	/	5.5	/
あてはまらない	/	2.0	/



学校評価アンケートについての考察

附属中学校教務部

「学習に関すること」について

授業で生徒が自分の考えを述べたり、クラスで討議したりするなどして、自分の考えを深めていると回答した生徒は 8 割を超え、昨年度から 7 % 上昇した。また、学習課題を理解し、授業に意欲的に取り組むことができている生徒は 9 割を超えている。授業に主体的・協働的に取り組んでいることが分かる。一方で、定期考査前に計画表を活用して見通しをもった学習を行っている生徒・保護者はどちらも 8 割に満たなかった。計画表の作成指導に加えて、進捗状況や振り返りの確認を通して、それぞれの生徒に必要なサポートを行っていく必要がある。

「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は、質問 5 - 3（授業での討議）は 82.5%（昨年は 75.2%）、質問 5 - 4（授業参加）は 95.6%であった。質問 1 - 2（計画表の活用）は生徒が 79.8%、保護者が 72.2%であった。

「生活に関すること」について

目標をもって学校生活を送っていると回答した生徒は 8 割を超えたものの、あてはまらない生徒が約 15%いる。生徒の目標設定意識の向上のため、今後もキャリア教育に継続して取り組み、各学年の実態に応じた指導を行っていく必要がある。

持ち物の管理やあいさつについて、それぞれできていると回答する割合が生徒は高いものの、教員は低い。教員側と生徒側の間に大きな認識のずれがあるという事実を生徒に示し、生徒自身にずれの原因を分析させ、具体的な行動レベルに落とし込んで検討させるなど、生徒が主体的にこのずれを解消していく取組を検討したい。

「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は、質問 5 - 6（目標をもった学校生活）は、84.7%、質問 5 - 7（持ち物の管理）は 83.6%、質問 5 - 14（あいさつ）は 93.4%であった。教員は、質問 5 - 7（持ち物の管理）は 59.0%、質問 5 - 14（あいさつ）は 40.9%であった。

「インターネットやクロムブックの利用」について

クロムブックを家庭学習に役立てていると回答した生徒は 9 割近くになり、昨年度より約 10%上昇した。保護者も 8 割に近付いた。クロムブックを活用した家庭学習が家庭内にも定着していることが分かる。一方、教員は役立てるように指導できている回答が 7 割程度で、生徒・保護者の実態より低い。この原因に、より質の高い指導方法を求めていたり効果的な活用に課題を感じていたりすることが考えられるため、効果的な活用指導法に関する研修や情報交換等を継続的に実施していく必要がある。

「ネットの約束 17 条」を守っていると回答した生徒は約 9 割だったのに比べ、教員、保護者は約 7 割で、認識に差が見られた。6 月に設定したネットの約束 17 条であるが、これまでの実態をもとに生徒会を中心に必要な取組を考えたり、内容の見直しを図ったりしながら、生徒に定着するように取り組んでいきたい。

質問 1 - 6（クロムブックの家庭での活用）について、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は 88.4%（昨年は 78.8%）、保護者は 77.8%（昨年は 75.0%）、教員は 72.7%（昨年は 75.0%）であった。

質問 1 - 5（ネットの約束 17 条）について、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は 91.3%、教員は 68.2%、保護者は 74.6%であった。

「家庭への情報発信」について

「ホームページやお知らせメール等、学校の活動や情報を知るのに役立っている」、「クラスルームで案内された情報は確実に確認している」と回答する保護者がどちらも9割前後で、グーグルクラスルームによる情報確認が定着していると考えられる。また、「困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある」と回答する保護者は、昨年度から約6%増加した。学校が保護者にとって、困りごとを気軽に相談できる場所として認知されてきていることが分かる。今後も、三者懇談会だけでなく、家庭で気付かれた生徒の変化等を早い段階で共通理解できるような関係を教員と保護者の間で築いていけるよう努めていきたい。

「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた保護者は、質問3-3（学校からの情報伝達）は、90.2%、質問3-2（情報の確認）は、86.8%、質問3-1（相談できる雰囲気）は85.3%（去年は79.1%）であった。

「見通しをもった仕事と引継ぎの充実」について

「企画立案の際、自分なりの工夫・改善をはかっている」教員が9割を超えた。新型コロナウイルスの感染対策のために縮小・変更されてきた事柄について、活動の目的や意義を見直し、生徒の教育上必要なことを精選し、活動内容を吟味してきた。今後も、限られた時間の中で生徒や教員にとってより有効な企画となるよう工夫・改善を図り、立案していくようにしたい。

質問4-3（企画立案の工夫改善）について、91.1%の教員が「あてはまる」「だいたいあてはまる」と回答している。

附中 ネットの約束 17 条

ネット等の利用時間・利用条件を決めて利用する

【推奨時間】	【我が家のルール】	○/×
・平日のネット利用時間は最大 1 時間まで	・平日のネット利用時間は最大()時間まで	
・休日のネット利用時間は最大 2 時間まで	・休日のネット利用時間は最大()時間まで	
・夜間のネット利用は最大 22 時まで	・夜間のネット利用は最大()時まで	
・友達への SNS、メールは 21 時まで	・友達への SNS、メールは()時まで	

1 SNS（LINE，Instagram，X，YouTube 等）は、相手の気持ちを考えて利用できているか

1	自分の写真や動画、個人情報を安易に送ったり、投稿したりしていない	
2	自分以外の人写真や動画、個人情報を勝手に送ったり、投稿したりしていない	
3	他の人が書いた文章や撮った画像、動画（スクリーンショット等）を発信・拡散していない	
4	SNS に悪口や事実と異なるうわさ等を書き込んでいない	
5	他人のふりをして、SNS 上に書き込んだり、利用したりしていない	

2 危険なネット・端末利用はやめる

6	見知らぬ人とネットで個人情報を交換していない	
7	ネット上で知り合った人と会っていない	
8	パスワードと ID を他人に教えたり、聞いたりしていない	
9	自転車に乗りながら、歩きながらなど「ながらスマホ」をしていない	
10	著作権のある素材や画像、動画等をコピー（ダウンロード）していない、及び使用していない	
11	あやしいメールや広告、サイトを開いていない	

3 保護者の管理のもとで、適切に使用できているか

12	フィルタリング機能を使っている	
13	アプリの ID 作成やダウンロードは、保護者に相談してから行っている	
14	ネットショッピングや課金をする前に、保護者に相談している	
15	定期的に保護者にスマホ等の使用状況を確認してもらっている	
16	食事中や勉強中には、端末を離れた場所に置いている	
17	困ったことがあれば、保護者にすぐ相談している	

【保護者記入欄】

_____月のお子さんのネット利用の様子はどのように思われますか。

_____年 _____組 _____番 生徒氏名 _____（自署）

保護者氏名 _____（自署）

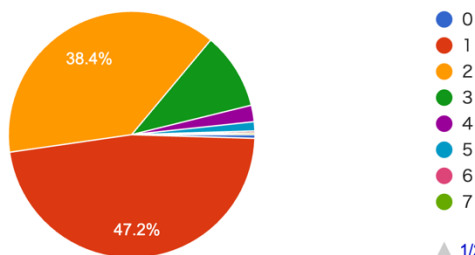
※取組の状況について、ご家族で話し合いながら記入してください。このチェックリストは、定期的に提出していただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
※このチェックリストは学校ホームページからダウンロードできます。

「附中 ネットの約束 17 条」 11 月調査より

ネット利用時間について

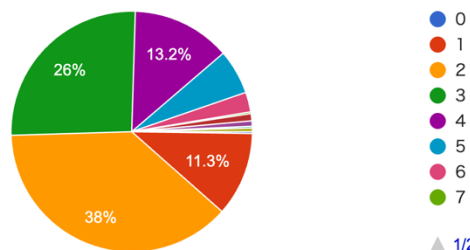
平日の利用時間

家庭での平日のネット利用時間は最大（ ）時間までだった。
417 件の回答



休日の利用時間

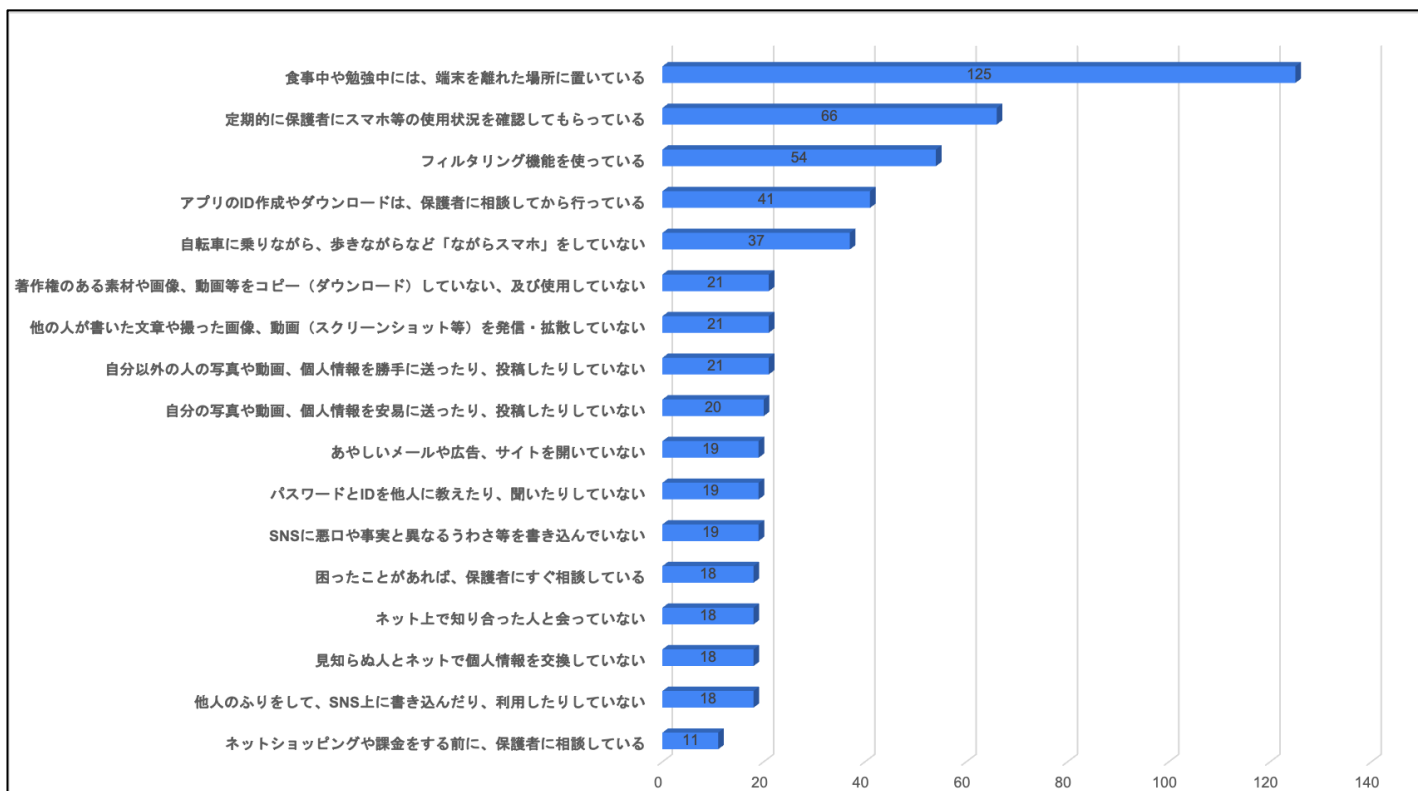
休日のネット利用時間は最大（ ）時間だった。
416 件の回答



平日における本校生徒の平均的なネット利用時間は**約 1 時間**、休日は**約 2 時間**となっていました。また、夜間のネット利用は平均して **21 時**まで、友達との SNS やメールの利用は**平均 20 時**までに収まっており、多くの生徒が生活リズムを意識しながら利用している様子がうかがえます。一方で、平日においても長い場合には平均 4 時間以上ネットを利用している生徒がいることも分かり、依存傾向が懸念される状況も確認されました。

全体としては、ご家庭での約束やルールを守りながら適切にネットを利用できている生徒が大多数を占めていますが、一部の生徒については、ネットとの関わり方について引き続き注意深く見守っていく必要があると考えられます。

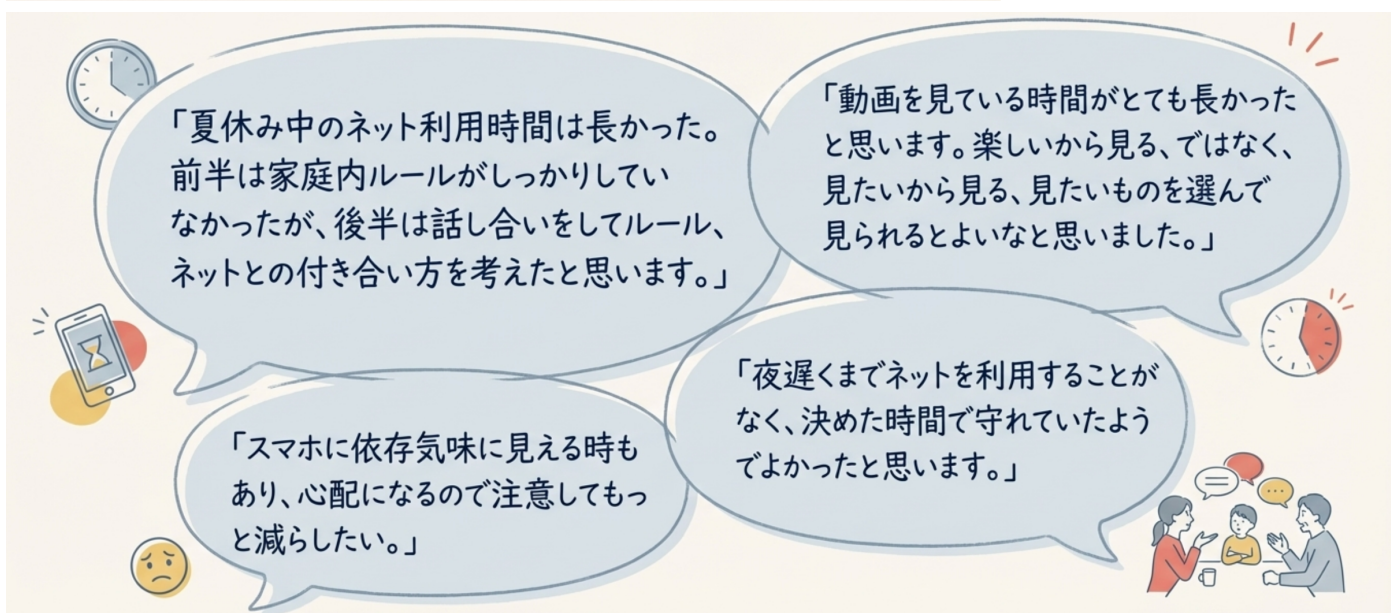
各項目の状況について（「いいえ」と答えた人）



17項目の中で、最も守られていなかったのは「**食事中や勉強中には、端末を離れた場所に置いている**」という項目でした。スマホへの依存傾向がうかがえます。そして、2番目に守られていなかった項目が「**定期的に保護者にスマホ等の使用状況を確認してもらっている**」という項目でした。全国的に見ても、ながらスマホや子どもの自己管理に任せっきりになっている状況はよく起こっており、本校においても、同様の傾向にあるようです。一方で、著作権侵害やなりすまし等の項目に関してはほとんどの生徒が守れており、多くの生徒が一定の知識と慎重さを身に付けていることがうかがえました。

保護者の声の共有

なかなか難しい… 家庭での「悩みの声」



①利用時間が長く、依存傾向を心配する声が多い

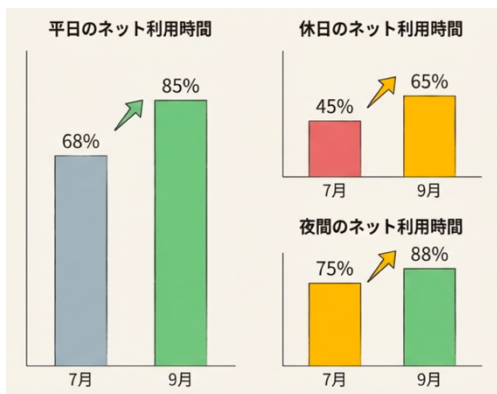
多くの保護者から、「時間があればすぐスマホ・タブレット端末を触っている」、「動画やゲームを見始めるとやめられない」「休日や夜間の利用時間が長い」といった声が寄せられました。特に、YouTube・ショート動画・ゲーム、勉強中や食事中の“ながら利用”、就寝直前・深夜の使用に対する不安が目立ち、「依存的になっているのではないか」「自制が難しい」と感じている家庭が一定数ありました。

②工夫しながら対応しているという声も

一方で、次のような工夫した取組もされているようです。「使用場所をリビングに限定している」、「勉強中は別室に端末を置く」、「タイマー・ロックボックス（タイムロッキングコンテナ）の活用」、「家族全員でスマホを置く場所を決める」、「休日は外出や体験活動を取り入れ「脱スマホ」を意識」等ありました。

冬休みに向けて

【夏休み前後での利用時間の推移】



7月～9月調査から、長期休み後にはネットの使用率が急上昇していました。冬休みも利用時間は上昇することが予想されます！12月以降も家庭でのネット利用に関してふり返っていただき、その結果を調査していきたいと思います。ご協力の程よろしくをお願いします。また、長期休み前にご家庭でルールやマナーの再確認をぜひお願いいたします。

保護者 各位

富山大学教育学部附属中学校
校長 山 根 拓

令和7年度 学校評価の結果について

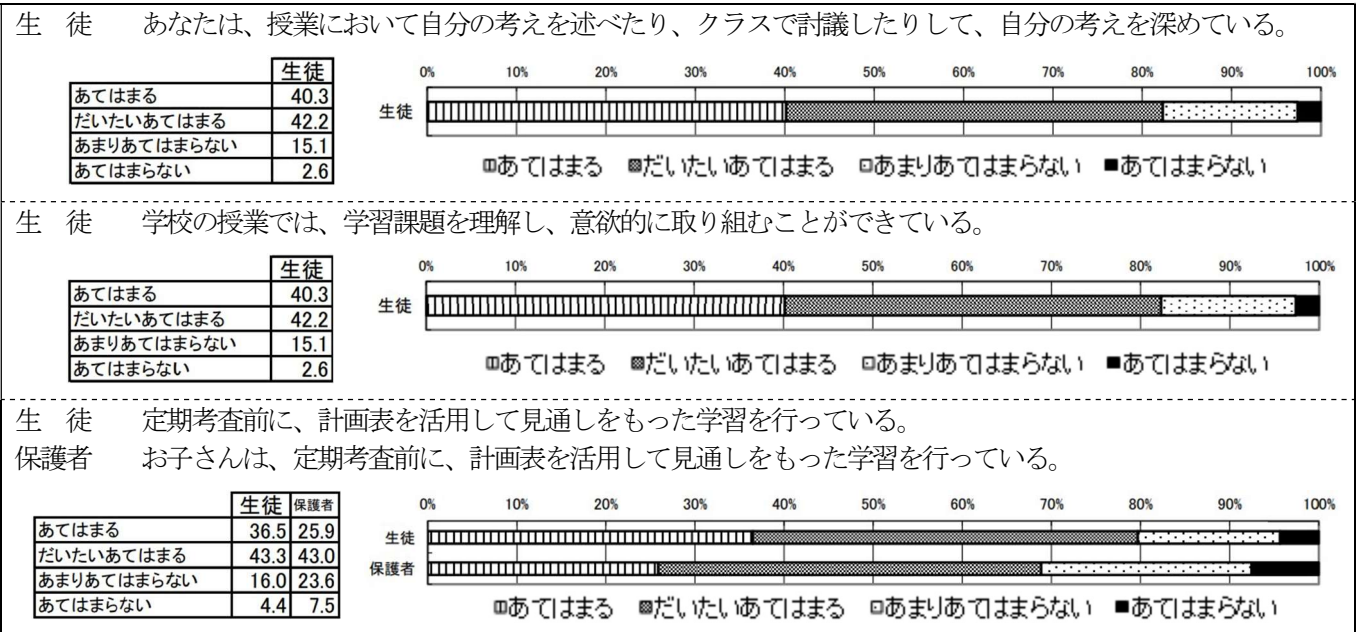
向春の候 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、10月に行った生徒・保護者・教員を対象としたアンケートを基に、今年度の学校評価を行いました。その結果の概要と今後の取組についてお知らせいたします。今後はこの結果を生かし、本校の教育活動がさらに充実したものになるよう努力してまいります。

記

1 今年度のアンケート結果より

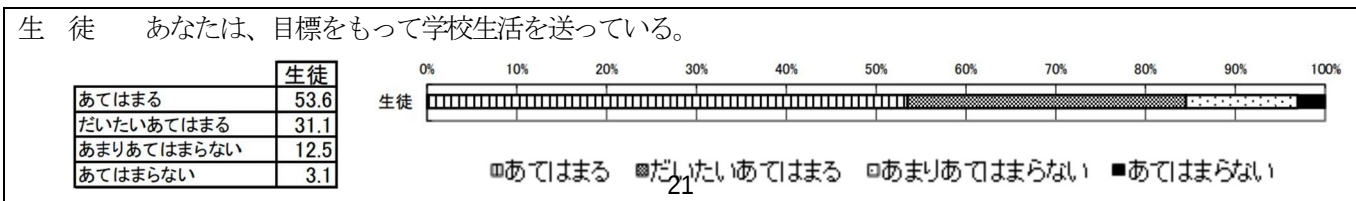
○「学習に関すること」について

授業で生徒が自分の考えを述べたり、クラスで討議したりするなどして、自分の考えを深めていると回答した生徒は8割を超えました。また、学習課題を理解し、授業に意欲的に取り組むことができている生徒は9割を超えました。毎日の授業に主体的、協働的に取り組んでいることが分かります。一方で、定期考査前に計画表を活用し、見通しをもった学習を行っていないと回答する生徒や保護者はどちらも2割を超えました。



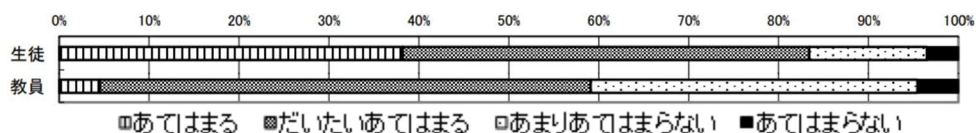
○「生活に関すること」について

目標をもって学校生活を送っていると回答した生徒は8割を超えたものの、そのように送ることができていない生徒が約15%いました。また、持ち物の管理やあいさつについて、それぞれ生徒と教員の捉え方が異なっており、認識に差が見られました。



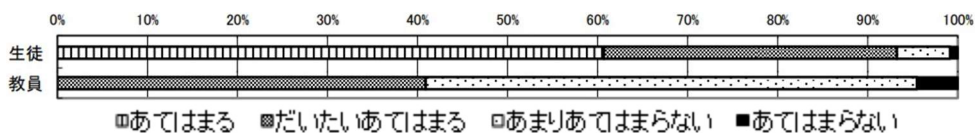
生徒 あなたは、持ち物の管理（忘れ物をしない、物をなくさないなど）ができています。
 教員 生徒は、持ち物の管理（忘れ物をしない、物をなくさないなど）ができています。

	生徒	教員
あてはまる	38.3	4.5
だいたいあてはまる	45.3	54.5
あまりあてはまらない	13.1	36.4
あてはまらない	3.5	4.5



生徒 あなたは、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつができています。
 教員 生徒は、あいさつをすべき場面で、気持ちのよいさわやかなあいさつができています。

	生徒	教員
あてはまる	60.8	0.0
だいたいあてはまる	32.6	40.9
あまりあてはまらない	5.9	54.5
あてはまらない	0.9	4.5

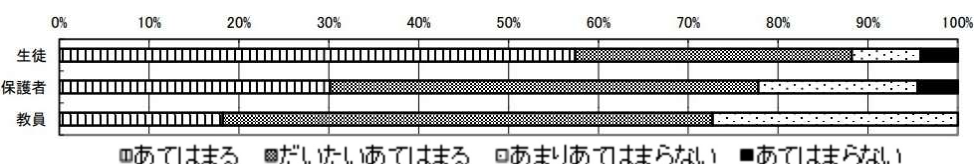


○「インターネットやクロムブックの利用」について

クロムブックを家庭学習に役立てていると回答した生徒は9割近くになり、保護者も8割近くになりました。クロムブックを活用した家庭学習が家庭内にも定着していることが分かります。一方、役立てるように指導できている教員は約7割でした。また、「ネットの約束17条」を守っていると回答した生徒は約9割だったのに比べ、教員は約7割、保護者は約6割で、捉え方に差が見られました。

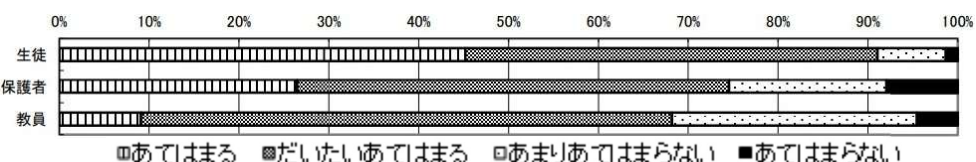
生徒 あなたはクロムブックを家庭学習に役立てている。
 保護者 お子さんは、クロムブックを家庭学習に役立てている。
 教員 あなたは、クロムブックを家庭学習に役立てることができるように指導している。

	生徒	保護者	教員
あてはまる	57.5	30.1	18.2
だいたいあてはまる	30.9	47.7	54.5
あまりあてはまらない	7.7	17.7	27.3
あてはまらない	4.2	4.5	0.0



生徒 あなたはインターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。
 保護者 お子さんは、インターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。
 教員 生徒は、インターネットやSNSを「ネットの約束17条」を守って使っている。

	生徒	保護者	教員
あてはまる	45.3	26.5	9.1
だいたいあてはまる	46.0	48.1	59.1
あまりあてはまらない	7.7	17.5	27.3
あてはまらない	1.3	7.9	4.5

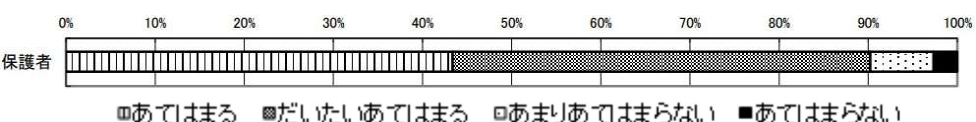


○「家庭への情報発信」について

「ホームページやお知らせメール等、学校の活動や情報を知るのに役立っている」と回答する保護者が約9割で、グーグルクラスルームを活用した情報確認が定着しています。また、困ったことがあった場合に相談できる雰囲気があると回答する保護者は、8割を超えました。学校が保護者にとって、困りごとを気軽に相談できる場所として認知されてきていることが分かりました。

保護者 ホームページや保護者クラスルーム等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている。

	保護者
あてはまる	43.4
だいたいあてはまる	46.8
あまりあてはまらない	7.1
あてはまらない	2.6



保護者 保護者から学校へ、困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある。

	保護者
あてはまる	33.8
だいたいあてはまる	51.5
あまりあてはまらない	11.6
あてはまらない	3.1



2 今後の取組について

これらの結果を基に学校評価を行い、以下のことを意識して、教育活動を行っていくことを確認しました。

○「学習に関すること」について

- ・今後も継続して生徒一人一人の主体性の高まりを目指す授業研究を進めていくこと。
- ・定期考査では、学習計画表の作成指導に加えて、必要に応じて学習に関する個別面談を行い、学習計画の進捗状況や振り返りの確認を通してサポートや指導を行っていくこと。

○「生活に関すること」について

- ・生徒が意欲的に目標を設定し、その達成に向けて日々の学校生活を送ることができるよう、2学年の「キャリアデザインキャンプ」を核としたキャリア教育に重点をおき、各学年の発達段階に応じた指導をしていくこと。
- ・本校が目指す生徒の姿について生徒と教員が改めて共通理解を図り、持ち物の管理やあいさつに関する、生徒と教員の認識の差が生まれる原因を分析したり、具体的な行動レベルに落とし込んで検討したりするなど、生徒が主体的にこの差を解消していくための取組を行うこと。

○「インターネットやクロムブックの利用」について

- ・教員は、より質の高い指導のための効果的なICT活用についての研修や情報交換等を継続的に実施していくこと。
- ・「ネットの約束17条」について、生徒の実態をもとに、生徒会を中心に必要な取組を考えたり、内容の見直しを図ったりしながら、生徒に定着するように取り組んでいくこと。
- ・インターネットや生成AIの活用については、総合的な学習の時間や各教科の授業を通して、各学年で計画的に指導していくこと。

○「家庭への情報発信」について

- ・今後も三者懇談会に限らず、学校や家庭で気付いた生徒の変化等を早い段階で共有できる関係を教員と保護者の間で築いていけるよう努めること。